

第九十回  
帝國議會  
貴族院

# 罹災都市借地借家臨時處理法案特別委員會會議事速記録第八號

(三四)

## 付託議案

○罹災都市借地借家臨時處理法案  
○訴訟費用等臨時措置法の一部を  
改正する法律案

昭和二十一年七月二十日(土曜)  
日)午前十時十七分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案  
ノ特別委員會ヲ開キマス、昨日迄  
逐條審議ヲ致シマシテ大體ノ細カ  
イ御質問ハ終ツタト存ジマス、就  
テハ本日ハ再び總括的ノ御質問ヲ  
御許シシタイト存ジマスガ、先般  
村田君ヨリ大臣ニ對シテ總括的ノ  
御質問ヲ御申出ニナリマシタカラ  
御許シ致シマス、村田君

○男爵村田保定君 私ノ大臣ニ御

尋ネ致シタイト思ヒマスノハ、司  
法關係ノ委員會ハ、言ヒ古サレ  
タコトデ、事新ラシイコトデハナ  
イノデアリマスガ、「ボツダム」宣  
言受諾後民主主義ヲ實現シタクチ  
ヤナラヌト云フ時勢ニナリマシデ  
是ト多少關聯スル所ガアルノデ、  
此ノ際殊ニ民間カラ御出ニナリマ  
シタ大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キタ  
イト思ヒマシテ、御忙シイ處オイ  
デテ願ツテ甚ダ恐縮ニ存ジマス、  
ト申シマスノハモウ既ニ明治以來  
西洋ノ法律學ガ我が國ニ入ツテ來  
テ、而モ裁判制度樹立後半世紀以

上經ツテ居ル其ノ間、司法ノ運用  
其ノ他ニ付テモモウ既ニ十分ニ何  
ト申シマスカ練達堪能ノ域ニ達シ  
テ居ルコトト思フノデアリマス、  
從來法律ノ建前ハ、民主的デナイ  
ト申シマスカ、國民生活ト比較的  
離レテ居ル、ドウモビツタリシナ  
イ所ガアル、殊ニ立法ノ建前ガ裁  
判官ヲ日常ニト云フ譯デモアリマ  
スマイガ、非常ニ精細ニ規定ガ設  
ケラレテ居ル、サウシテ其ノ立法  
技術ノ關係デ、準用其ノ他色々ノ  
關係デ、一ツノ法文ヲ見タダケデ  
ハ何ノコトヤラ分ラヌ、先達ツテ  
以來、御審議ニナリマシタ罹災都  
市借地借家臨時處理法モ、專門ノ  
御意見ヲ伺ヒマス、實ニ複雑ヲ  
極メテ居ル、斯ウ云フ所ガアル、  
ソコデ法ノ理想カラ言ヘバ成ルベ  
ク簡略ニシテ、誰ガ見テモ直グ分  
ル、サウアリタイノデアリマスル  
ガ、ソレモ無論一概ニサウ云フ譯  
ニモ行カナイノデ、複雑ニナリマ  
シタ社會情勢ヲ規律スル爲ニハ、  
相當ニ矢張り複雑ナ法規モ必要ナ  
ノデハアリマスガ、趣旨ハ成ルベ  
ク簡明ニアリタイト思フノデアリ  
マス、サウシテ其ノ運用ヲ人ニ委  
ネル、詰リ裁判官ガ練達堪能デア  
ツテ、條理ニ徹シテ裁判ヲ行ヘバ  
法律ハサシテ精細ナルヲ要シナイ  
ノデアリマス、サウ云ツタヤウナ

方向ニ向ヘバ一番宜イノデヤナイ  
カト思ハレルノデアリマス、屢々  
從來モ斯ウ云フ意見ガ出テ、或ハ  
希望條件トシテ出タコトモアツタ  
ト思ヒマスルガ、併シ是ハナカナ  
カ大問題ナノデ、嘗ツテ度々繰返  
シテ論議ハセラレマスガ、尙舊態  
依然タル有様デ今日迄來テ居リマ  
ス譯デアリマス、ソレデ此ノ際ニ  
一方ニ於テ非常ニ精細ノ規定ガ出  
來テ居ル、運用スル司法官ノ方デ  
ハ其ノ法律ニ頼リ過ギルト云フ弊  
ガ出テ來テ、ドウモ形式的ニ法文  
ニ縛ルト云フヤウナ弊ガ出テ參ツ  
テ、獨立不羈ノ法律ノ豐カナ自由  
裁量ノ餘地ガナクナツテ、ギゴチ  
ナイ裁判ガ出來ルト云フヤウナ弊  
モ出來ルカト思フノデアリマス、  
要ハ何ト申シマスカ、人ノ養成、  
サウ云フ立派ナル司法官ヲ多數ニ  
揃ヘルト云フコトモ亦此ノ法律ヲ  
簡明ニスルコトニ依ツテ所期スル  
コトガ出來ル、少シ言ヒ方ハソカ  
シナ言ヒ方ニナリマスルケレドモ  
副効果モアルカト思ハレル、餘リ  
ニ精細ニ決メテヤルノデ、ソレニ  
頼リ過ギテ法官ハ自由ナル活動ヲ  
失ツテシマフト云フコトモアリ得  
ナイコトデハナイト思ハレルノデ  
アリマス、ソコニ司法官ノ向上心  
モ出テ來ル、自由ノ活動ノ範圍モ  
出デ來ル、斯ウ云フモノニモナラ

ウカト思ヒマス、之ニ對シテ大臣  
ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスル  
カ、サウシテ將來サウ云ツタヤウ  
ナ方向ニ進メテ行クト云フヤウナ  
御考ガゴザイマスルカドウカ、一  
ツ其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○國務大臣(木村篤太郎君) 御答  
ヘ致シマス、申ス迄モナク法律ハ  
國民ノ法律デアリマス、國民ニ能  
ク其ノ法律ヲ遵法セシメルニハ、  
國民ヲシテ其ノ法律ヲ周知セシメ  
ルト同時ニ、能ク之ヲ理解セシメ  
ルト云フコトガ必要デアルコトハ  
言フ俟タナイノデアリマス、斯ル  
ガ故ニ今、村田委員ノ仰セノ如ク  
法律ノ條文ハ極メテ簡明直截ナル  
コトヲ要スルコトハ私モ全く同感  
デアリマス、併シ事ノ性質上、簡  
明直截ナルコトヲ要スルト同時ニ  
又一方カラ精細ニ之ヲ規定スルコ  
トヲ要スル事情モアルコトハ、是  
ハ言フ俟タナイノデアリマス、本  
法ハ御承知ノ如ク、借地借家臨時  
處理法及ビ罹災都市物件令、其ノ  
他各般ノ法律ト相關係交叉シテ居  
ノデアリマス、而モ罹災都市住民  
ニ付テ重大ナル影響ヲ及スベキ法  
案デアリマスノデ、斯ルガ故ニ、  
立法技術上之ヲ簡明直截ニスルコ  
トハナカ／＼容易ナコトデハナイ  
ノデアリマシテ、先ヅ／＼提出致  
シマシタ此ノ法案位ノ所ガ適當デ

ヤナイカト存ズル次第デアリマ  
ス、而シテ今村田委員ノ仰セニナ  
リマスル、此ノ問題ヲ離レテ、將  
來法案ノ作成ニ付テ成ルケテ裁判  
官ノ自由判斷ノ餘地ヲ與ヘルコト  
ガ好マシクナイカト云フ仰セデア  
リマスルガ、私モ其ノ點ニ付テ御  
同感デアリマス、先刻來申シマシ  
タ通り、原則トシテ法律ハ其ノ條  
文簡明直截ナルコトヲ要スルト同  
時ニ裁判官ヲシテ其ノ裁量ノ範圍  
ヲ十分ニ與ヘルト云フコトモ、是  
亦一方カラ見テ必要ナコトト存ズ  
ル次第デアリマス、將來政府ニ於  
キマシテハ、法律ノ條項ニ付テ成  
ルケテ國民ヲシテ十分ニ理解シ得  
ルヤウナ方法ヲ採ツテ行キタイト  
存ズル次第デアリマス  
○男爵村田保定君 只今大臣ノ御  
懇切ナル御答辯ニ感謝致シマス、  
ソレカラ尙ソレニ附隨致シマシテ  
是ハ司法省ニ御尋スルト云フヨリ  
モ法制局ノ問題ナノデアリマスル  
ガ、昨日政府委員ニハチヨット申  
上ゲテ置キマシタノデアリマスル  
ガ、用語ノ問題デ、用語ガ口語體  
ニナリマシタコトハ結構デアリマ  
スルノデ、更ニ是ハ先程申シマシ  
タ趣旨ト相關聯シテ居ルノデアリ  
マスルガ、單ニ文章語ノ、何ント  
申シマスカ、一デニハ「トカ、其ノ  
他ノ動詞ト云フヤウナモノヲ口語

ニ直シタト云フダケニ止マラズ、モウ一步進メテ、モウチツト平易ニ本當ノ口語ニナツテ行クヤウニ是ハ大臣カラ御骨折ヲ願ハナイトナカ／＼ムツカシイト思フノデアリマスルガ、是ハ質問デハナク御願ヲスル譯デアリマスルガ、其ノ點ニ付大臣ハ無論御賛成ノコトダト思フノデアリマスガ、一應御意向ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(木村寬太郎君) 申上ゲマス、只今ノ御言葉、至極御尤モデアリマス、御承知ノ通り口語體ニ法文ヲ作ルト云フコトハ極メテ最近カラ始ツタコトデアリマス、或ハモット準備期間ヲ置イテ宜カツタノデヤナイカトモ考ヘラレマス、從ツテ此ノ口語體ノ完壁ハ容易ニ期セラレナイ、此ノ法案ニ付キマシテモ一々指摘致シマスルト極メテ不適當ナ所ガアルコトト存ジマス、併シナガラ將來ニ於キマシテハ十分ニ注意ヲ致シマシテ、成ルタケ分ルヤウニ、且是ガ本當ノ口語體デアルト云フ意味ニ於キマシテ文體ニ十分氣ヲ付ケテ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

○男爵村田保定君 私ノ質問ハ終リマス

○霧山精一君 村田委員ノ御質問ニ關聯シテ居リマスノデ、私カラモ少シク御尋シテ見タイト思フノデアリマス、本法案ハ口語體ヲ用ヒテ居リマシテ、平假名ニナツテ居リマス、見掛ケハ如何ニモヤサ

シイヤウニ見エルノデアリマスケレドモ、其ノ立法技術、内容ニ至リマシテハ唯平假名ヲ用ヒテ口語體ニシタト云フダケデアリマシテ、其ノ立法技術ノ點ニ於キマシテハ舊態依然デアリマス、少シモ法文ヲ平易ニスル、分り易クスルトカ云フヤウナ點ニ付テ十分留意サレテ居ラナイノデヤナイカ、斯ウ云フ風ナ時代ニナリマシテ民衆ノ法律ヲ作ルノデスカラ、民衆ガ讀ンデ直チニ分ル、斯ウ云フ風ナ方法ニ於テ立法シ、又技術モソレニ相應スル技術ヲ用ヒナケレバナラヌノデヤナイカト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ法案ヲ拜見シテ感ズルコトハ、サウ云フ技術ノ方面ニ於キマシテ、マダ非常ニ生硬ノ城ヲ脱シナイ、舊態依然タルモノガアル、是ハ法制ヲ作ル人ノ頭ガ十分切換ヘラレテ居ラナイト云フ結果デハナイカト思フノデス、法制局アタリノ頭ガマダ前ノ法律ヲ作ツタ當時ノ技術ナリ、頭其ノ儘デアツテ、民衆ニ愛サレル法律ヲ作ラウト云フコトガ本當ニ徹底シテ居ラナイト云フコトガ全篇ヲ通讀シテ分ルノデアリマス、此ノ法律ハ是デ出來マシタカラ已ムヲ得ナイノデアリマスルガ、是カラ憲法ノ改正ニ伴ヒマシテ色々ナ法律ヲ澤山立法サレルコトト思フノデアリマスルガ、此ノ立法ニ際シテハモウ少シ頭ヲ切換ヘテ載キタイ立法技術ノ點ニ於キマシテモ、昔

ノヤウニ堅苦シク斯ウ書イテ置ケバ自然ニ斯ウナルノダカラ、法律家ガ解釋スレバ分ルノダト云フヤウナ風デナシニ、極ク平易ニ民衆ニ何處迄モ分ラセルト云フ建前デ法律ヲ作ツテ載キタイ、サウ云フ風ニ頭ヲ切換ヘラレナケレバナラヌノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ只今村田委員カラ法文ヲ簡易ニシ平明ニスルト云フ御意見ガゴザイマシタガ、從來ノ立法技術ノ弊害ト云フモノハ、法文ヲ簡易ニシテ短イ法文ノ間ニ色々ナモノヲ織込ンデ、サウシテソレヲ極ク簡易ナ條文ニ作り上ゲルト云フコトガ立法ノ一ツノ技術デアス、從ツテソレヲ讀ンデモ色々ナモノガ短イモノノ中ニ入ツテ居ルモノデスカラナカ／＼分リニクイ、斯ウ云フ結果ニナツテ居リマス、デスカラ法律ハ法律家ノ法律デ、法律家シカ分ラナイ、一般大衆ハ何ノコトカ譯ガ分ラヌト云フヤウナモノガ自ラ出テ來ルノハ、法文ヲ機械化シテ簡易ニシテシマフト云フコトカラ生ズル弊害デハナイカト思フノデアリマス、寧ロ私カラ言ハセルト、ソナニ纏メ上ゲテシマハナクテモ、モウ少シナダラカニ、疑問ノアル所ハ明カニスルヤウニシテ、サウシテモウ少シ長クテモ宜イノデヤナイカ、短イカラ分リニクイ、短イ所ヘ色色ナ意味ノモノヲ詰込マウトスルカラ非常ニ技術ガ困難ニモナル

シ、ムツカシクモナル、サウデナシニモウ少シダラムノト長ク色々規定シテ行ツタナラバ、サウ技術ハ要ラスデヤナイカ、今ノ立法技術ト云フヤウハ、短イ中ニ色々ナモノヲ叩込ンデ、ソレニ色々ナ意味ヲ持タセヨウトスルカラコソ非常ニムツカシクナルノデアリマシテ、法制局ノ連中ハサウ云フコトヲ以テ得意トシテ居ルノデヤナイカト我々ハ考ヘテ居リマス、其ノ得意トスル所ガ現代ニハイケナイ、寧ロソナ頭ヲ碎イテシマツテ、サウシテ法文ハモット長クテモ宜イノデス、斯ウ云フ借地借家法ノヤウニ一般大衆ニ直チニ影響スル法律ノ如キモノハ、借地借家人ガ此ノ法律ヲ讀ンデ直チニ解出來ル程度ニ書下シテ行カナケレバナラヌノデハナイカト思フノデ

是ハ此ノ法律ニ限ラナイ、將來作ラレル法律ニ付テモサウ云フ態度デ以テ進マナケレバ何時迄モ法律家ノ法律デアツテ、民衆ノ法律ニナラナイ、此ノ法文ヲ讀ンデ見リマシテ非常ニムツカシイノデアリマス、恐ラク此ノ法文ト云フモノハ近來稀ナルムツカシイ法律ダト私ハ思フ、私共ハ斯ウ云フ問題ニ付テハ割合理解ノアル方デアリマシテ、相當分ヲ積リデ居ツタノデスケレドモ、此ノ法文ヲ讀ンデ果シテ是ガ十分理解出來ルカト云フト、私共ノヤウナ所謂本職デア

ツテモナカ／＼理解ニ困難ナノデアリマス、從ツテ色々細カイ點ヲ御尋シテサウシテ始メテ理解致シマシタコトハ非常ニ私トシテハ仕合セデアリマスガ、併シナガラ此ノ法文ヲ大衆ニ分ラセル、或ハ此ノ法文ノ解釋、適用スル爲ニハ矢張り此ノ法文ノ趣旨ヲ十分ニ明カニシテ置ク必要ガアルト云フ風ニ感ジマシタ、色々數日ニ亘ツテ細カイ質問ヲシテ、サウシテ其ノ點ニ於テ解釋適用ニ誤リノナイコトニ致シタイト思ツテ、私トシテハ餘リ質問シタクナガツタノデアリマスケレドモ質問ヲ試ミタ次第デアリマス、サウ云フ風ニコンナニ非常ニムツカシイ法律ニナツテ居リマス、殊ニ今ノヤウニ短カク壓搾シテアルノデアリマスカラ色々ナモノノガ入ツテ參リマシテ、例ヘバ昨日モチヨツト例ヲ出シテ論ジタノデスガ、本法ノ第三十二條ニ依リマス、此ノ中ニハ建物ノ居住者ト、ソレカラ所有者カラ其ノ土地ノ使用ヲ許サレタモノト、此ノ三者ノコトガ三十二條ニ突込ンデ書イテアル、サウシテ此ノ三十二條ニ三者ニ付テ「第二條乃至第五條、第七條第二項及び第八條の規定を準用する」ト斯ウ書イテアル、ソコデ私ハ所有者ニ付テ、此ノ規定ヲ適用シテ見マスト二條ノ適用ハナイ、四條ノ適用モナイ、五條ノ適用モナイ斯ウ云フ風ニ所有者ニ付

テハ三十二條ニ付テハアルニ拘ラズ、サウ云フ風ニ所有者モ何モ皆壓抑シテ此ノ三十二條ノ中ニ全部適用シヨウト思フモノダカラ、所有者ニ付テモ二條乃至五條ノ規定ヲ準用スルト書イテアル、併シナガラ事實解釋シテ見ルト、二條ノ準用モナケレバ、四條ノ準用モナケレバ、五條ノ準用モナイ、斯ウ云フ結果ニナツテシマフ、是ガ即チ法制局ガ何モカモ三十二條ニ三者一緒ニ突込シテ規定シヨウト思フカラ、サウ云フ無理ナ規定ガ此處ニ出來テ居ル譯ナノデアリマス、サウ云フコトハ隨所ニモツトハツキリ書ケバ宜イト思フコトガ至ル所ニアルノデアリマス、國民ニ對シテ懇切丁寧ニ法文ヲ作ルト云フ精神ニ缺ケテ居ルト私ハ思フノデス、ノミナラズ是ハ從來カラアルコトデスケレドモ、餘リニ準用ガ多過ぎル、法律ノ規定ヲ準用ト云フコトハ或程度ハシナイト書キ難イデスカラ、私モ立法ニ關係シタコトガナイ譯デヤナイ譯デスカラ、知ツテ居リマスケレドモ、準用ハ大變便利デアリマスガ、準用ト云フコトハ一般大衆ニ實ニ苦手ナンデス、専門家ニモ苦手デス、處ガ準用ヲシテ、又再準用ニナルノガ幾ラモアル、例ヘバ三十二條ニ於テ三條ヲ準用スル、三條ノ中ニハ二條ヲ準用シテ再準用ニナツテ居ル、實ニ準用ガ多過ぎマシテ、是デハドウモ素人ニ分リヤウガナ

イ、コンナ準用ヲ澤山使フノデハ素人ニハ分ラナイ、一般大衆ニ分リヤウガナイ、斯ウ云フ點ニ付テモウ少し立法技術者ノ頭ヲ改メテ、サウシテモウ少し長クテモ宜イカラ、平易ニ法文ヲ書クト云フ風ナコトニ法制局始メ總テ改メナケレバイケンナイノデハナイカ、是ハ將來ノ立法ニモ關係スル問題デアリマスカラ、此ノ點ニ對スル司法大臣ノ御意見ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス

又ハ其ノ換地ニ借地權ヲ有スル者ハ、其ノ借地權ト及ビ其ノ土地ニアル建物ノ登記ガナクテモ、之ヲ以テ何年間第三者ニ對抗スルコトガ出來ル、斯ウアリマス、此ノ場合ニ借地權ノ讓渡ノ關係ハドウナルノデアリマセウカ、即チ借地權ノ讓渡ヲ受ケタ場合ハ、矢張り登記ナクテモ對抗出來得ル御趣旨デアリマスルカ、或ハ讓受ノ場合ハ登記ヲ必要トスルノデアルト云フ御趣旨デアリマセウカ、現ニ第四條、第六條、第七條等ニハ此ノ借地權讓渡ノ場合ガ色々規定シテアリマスルガ、唯登記ノ關係ニ付テ此ノ十條ハ讓渡ノ場合ヲ認メテ居ナイ、成ル程借地權ノ中、賃借權ノ讓渡ニ付テハ賃借人ノ承諾ヲ必要トスルノデアリマスケレドモ、地上權ノ讓渡若クハ地上權ニ賃借權ヲ設定シタ場合、斯ウ云フ場合ハ必ズシモ其ノ土地ノ所有者ノ承諾ハ必要トシナイノデアリマス、承諾ヲ必要トスルカラ、登記ハ要ルマイト云フコトニハナラナイダラウト思ヒマス、借地權讓渡ノ場合ノ登記關係、即チ其ノ讓受ヲ以テ或期間第三者ニ對抗シ得ル、此ノ要件ニ關シテ政府委員ノ御見解ヲ承リタイノデアリマス

又ハ其ノ換地ニ借地權ヲ有スル者ハ、其ノ土地ニアル建物ノ登記ガナクテモ、之ヲ以テ何年間第三者ニ對抗スルコトガ出來ル、斯ウアリマス、此ノ場合ニ借地權ノ讓渡ノ關係ハドウナルノデアリマシテ、是ハ其ノ借地權自體ノ讓渡ニ付テモ登記ガナクテモ對抗シ得ルト云フ趣旨デハゴザイマセヌノデ、唯引續キ借地權ヲ持ツテ居レバ、其ノ土地ノ所有者等ガ變ツテモソレニ登記ガナクテモ對抗シ得ルト云フ趣旨デハゴザイマス

御許シシテ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○委員長(子爵高木正得君) 御異議ナシト認メマス、然ラバ是ヨリ暫時懇談ニ入りマス  
午前十時五十七分懇談會ニ移ル  
午後零時十一分懇談會ヲ終ル  
○委員長(子爵高木正得君) 速記開始、本日ノ午前ハ此ノ程度ヲ休憩致シマシテ、午後ハ一時カラ再開致シマス、是ニテ休憩致シマス  
午後零時十二分休憩  
午後一時三十九分開會  
○委員長(子爵高木正得君) 是ヨリ午前ニ引續キ會議ヲ開キマス、午前中ニ討論前ニ懇談ニ入りマシタガ、是ヨリ若干質問ガ殘リマシタノデ繼續致シマス、作問君

○政府委員(奥野健一君) 左様デアリマス  
○委員長(子爵高木正得君) 大體御質問モ御終了ノコトト存ジマス、從ツテ此ノ際質問ヲ打切りマシマス、次ニ討論ニ入りマス、ドナタカ御發言ガゴザイマセヌカ  
○作問君 速記ヲ止メマシテ一應御懇談ヲ許シテ戴ク機會ヲ御作り願ヘマセヌデセウカ、其ノ上デ又意見ヲ述ベタイト思ヒマス  
○委員長(子爵高木正得君) 御略リ致シマスガ、只今作問君ヨリ討論ニ入りマス前ニ懇談ヲ願ヒタイ斯ウ云フ御申出ガゴザイマシタガ

○政府委員(奥野健一君) 第十條ニ於キマシテハ丁度舊令第三條、第六條ノ場合ヲ受ケタ規定デアリマスルガ、建物ノ滅失或ハ疎開建物ノ除却サレタ當時カラ引續キ數

○政府委員(奥野健一君) 左様デアリマス  
○委員長(子爵高木正得君) 大體御質問モ御終了ノコトト存ジマス、從ツテ此ノ際質問ヲ打切りマシマス、次ニ討論ニ入りマス、ドナタカ御發言ガゴザイマセヌカ  
○作問君 速記ヲ止メマシテ一應御懇談ヲ許シテ戴ク機會ヲ御作り願ヘマセヌデセウカ、其ノ上デ又意見ヲ述ベタイト思ヒマス  
○委員長(子爵高木正得君) 御略リ致シマスガ、只今作問君ヨリ討論ニ入りマス前ニ懇談ヲ願ヒタイ斯ウ云フ御申出ガゴザイマシタガ

○政府委員(奥野健一君) 左様デアリマス  
○委員長(子爵高木正得君) 大體御質問モ御終了ノコトト存ジマス、從ツテ此ノ際質問ヲ打切りマシマス、次ニ討論ニ入りマス、ドナタカ御發言ガゴザイマセヌカ  
○作問君 速記ヲ止メマシテ一應御懇談ヲ許シテ戴ク機會ヲ御作り願ヘマセヌデセウカ、其ノ上デ又意見ヲ述ベタイト思ヒマス  
○委員長(子爵高木正得君) 御略リ致シマスガ、只今作問君ヨリ討論ニ入りマス前ニ懇談ヲ願ヒタイ斯ウ云フ御申出ガゴザイマシタガ

○政府委員(奥野健一君) 左様デアリマス  
○委員長(子爵高木正得君) 大體御質問モ御終了ノコトト存ジマス、從ツテ此ノ際質問ヲ打切りマシマス、次ニ討論ニ入りマス、ドナタカ御發言ガゴザイマセヌカ  
○作問君 速記ヲ止メマシテ一應御懇談ヲ許シテ戴ク機會ヲ御作り願ヘマセヌデセウカ、其ノ上デ又意見ヲ述ベタイト思ヒマス  
○委員長(子爵高木正得君) 御略リ致シマスガ、只今作問君ヨリ討論ニ入りマス前ニ懇談ヲ願ヒタイ斯ウ云フ御申出ガゴザイマシタガ

○政府委員(奥野健一君) 第十條ニ於キマシテハ丁度舊令第三條、第六條ノ場合ヲ受ケタ規定デアリマスルガ、建物ノ滅失或ハ疎開建物ノ除却サレタ當時カラ引續キ數

○政府委員(奥野健一君) 第十條ニ於キマシテハ丁度舊令第三條、第六條ノ場合ヲ受ケタ規定デアリマスルガ、建物ノ滅失或ハ疎開建物ノ除却サレタ當時カラ引續キ數

○政府委員(奥野健一君) 第十條ニ於キマシテハ丁度舊令第三條、第六條ノ場合ヲ受ケタ規定デアリマスルガ、建物ノ滅失或ハ疎開建物ノ除却サレタ當時カラ引續キ數

○政府委員(奥野健一君) 第十條ニ於キマシテハ丁度舊令第三條、第六條ノ場合ヲ受ケタ規定デアリマスルガ、建物ノ滅失或ハ疎開建物ノ除却サレタ當時カラ引續キ數

○政府委員(奥野健一君) 第十條ニ於キマシテハ丁度舊令第三條、第六條ノ場合ヲ受ケタ規定デアリマスルガ、建物ノ滅失或ハ疎開建物ノ除却サレタ當時カラ引續キ數

モ自ラ建築スルダケノ意欲ガナイ  
斯ウ云フコトガ實際ニ於テハ相當  
アリ得ルコトト思ヒマス、又其ノ  
場合ニ借地權ヲ得ル爲ニハ矢張り  
相當ノ對價ガ要ルノデアリマスル  
カラ、尙更ノコトデアリマス、斯  
様ナ狀態ニ土地ガ置カレマシタ時  
ニ、假令罹災者デナクとも、疎開  
者デナクとも、ソレ以外ノ者デモ  
相當ノ資力ヲ持チ、用意ヲ爲シ、  
サウシテ復興協力ノ爲ニ、復興促  
進ノ爲ニ、適當ナ建物ヲハ必要  
ナ建物ヲ所有シタイト云フ目的デ  
借地權ノ設定ヤラ、借地權ノ讓渡  
ヲ申出デタ場合ニハ、土地ノ所有  
者又ハ貸賃人ハ正當ノ事由ノナイ  
限りハ之ニ應ズベキモノトスルト  
云フ立法ヲ、本法案ニ附加ヘラレ  
テハ如何デアリマセウカ、若シソ  
レヲ附加ヘラレズとも、サウ云フ  
事態ガ將來ニ續キトシテ起ルヤウ  
ナ場合ニハ、政府即チ司法當局ニ  
於カレテ別ニ新タニ考慮シヨウ、  
サウシテ立法其ノ他善處ノ途ヲ講  
ジヨウト云フ思召ガアルナラバ、  
ソレデモ此ノ場合私共ハ納得致シ  
マス、デサウ云フ處置ヲ御講ジニ  
ナレバ、實際ニ於テハ罹災者、疎  
開者等モ其ノ建物ノ一部ニ收容カ  
ルハ利用セシムル、ソレカラ地主  
モ相當ニ對價ヲ得テ借地權ヲ設定  
セシムルコトガ出來ル、貸賃人モ  
相當ノ對價ヲ得テ讓渡スコトガ出  
來ル、各關係者ガ何レモ餘リ損失  
モ多クナラズシテ、負擔ヲ多クセ

ズシテ居住ナリ生活ノ問題ガ自ラ  
圓滑ニ解決セラル、ノデハアリマ  
セスカ、サウ云フ點ニ迄考ヘ及シ  
マス、ドウシテモ一面ニ於テ先  
ヅ罹災者、疎開者ヲ保護セラレ  
コトハ結構デアリマスルガ、其ノ  
外ニサウ云フ途モ併セテ拓イテ置  
カレタ方ガ宜シイノデアリマス  
マイカ、斯ウ云フ希望ヲ持ツテ居  
リマス、別ニ他意ナイ、唯ソレダ  
ケノコトデアリマス、ソレダケシ  
申上ゲマス  
○國務大臣(木村篤太郎君) 御答  
ヘ致シマス、罹災地ノ復興ニ付テ  
政府ハ之ニ對シテ適當ナ處置ヲ執  
リ、一日モ早ク復興ヲ希フコトハ  
言フヲ俟タスコトデアリマス、而  
シテ本法案ハ復興ノ一翼ヲ買ツテ  
居ルノデアリマシテ、罹災者、疎  
開者、サウシテ土地所有者、此ノ  
間ノ圓滿ナル調和ヲ圖ツテ行キタ  
イト云フノガ其ノ趣旨デアリマ  
ス、今作問委員ノ仰セニナツタコ  
トハ極メテ御尤モデアリマスル  
ガ、現實ノ問題ト致シマシテ、疎  
開者、罹災者トモ家ヲ建テル希望  
モナク又所有者モ其ノ希望モナイ  
ト云フ場合ニ、第三者ガ其ノ土地  
ノ利用ヲ欲シタ場合ニ、其ノ利用  
ヲ認メテ行クヤウナ方策ヲ採ルト  
云フコトハ至極御尤モデアリマ  
ス、併シ其ノ場合ニ現實ノ問題ト  
致シマシテ、恐ラク所有者ガ其ノ  
借地權ノ讓渡ナリ、賃借權ノ讓渡  
ナリヲ拒ムト云フヤウナコトハア

リ得ナイト思ヒマス、遊バセテ置  
ケバ土地ノ收入ト云フモノハ無ク  
ナルノデアリマス、全ク現實ノ問  
題ト致シマシテハ、左様ナコトハ  
危惧ニ屬スルノデヤナイカト考ヘ  
ラレマス、併シ將來左様ナ問題ノ  
下ニ地主ガ正當ナ理由ナクシテ借  
地權ノ讓渡ナリ、地上權ノ設定ナ  
リヲ拒ムヤウナ場合ガ頻發致シマ  
シテ、復興ノ妨ゲヲ來タスヤウナ  
事例ガ頻發致シマシタナラバ、其  
ノ時ニハ十分ニ政府當局ト致シマ  
シテハ考慮致シタイト思ヒマス、  
左様御承知ヲ願ヒマス  
○委員長(子爵高木正得君) 質問  
ハ是デ終ツタト存ジマス、次ニハ  
討論ニ入りマス、討論ニ御發言ハ  
ゴザイマセスデスカ、別ニ御發言  
ガナイモノト認メマス、討論ハ終  
局致シマシタ、次ニデ採決ニ入り  
マス、本委員會ニ附託セラレマシ  
タ罹災都市借地借家臨時處理法案  
ノ原案ニ付キマシテ、賛成ノ方ノ  
舉手ヲ御願ヒ致シマス  
(總員舉手)  
○委員長(子爵高木正得君) 全會  
一致ト存ジマス、本案ハ可決スベ  
キモノト決定致シマシタ、次ニ附  
託サレテ居リマス訴訟費用等臨時  
措置法中改正法律案、之ヲ次回ノ  
委員會ニ於テ議題ト致シマス、次  
回ハ本會議ノアリマス日ノ議事散  
會後ニ開キタイト思ヒマス、左様  
御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ  
散會致シマス

午後一時五十分散會  
出席者左ノ如シ

委員長 子爵高木 正得君  
副委員長 男爵肝付 兼英君  
委員

侯爵東郷 彪君  
侯爵嵯峨 實勝君  
伯爵東久也通忠君  
子爵森 俊成君  
子爵大久保教尙君  
霜山 精一君  
男爵村田 保定君  
竹下 豐次君  
原 泰一君  
中島德太郎君  
作間 耕逸君

國務大臣 木村篤太郎君  
司法大臣

政府委員 司法事務官 奥野 健一君